

# 平成31年度 総務部 業務計画

基本理念 5	一人一人の思いが調和し 未来をひらく 行政経営
政策目標 1 7	それぞれが持つ力を最大限に発揮する行政経営

## 1 平成31年度における部局の経営方針

市役所のプラットフォームとして、職員全体が働きやすく、また市民に対して質の高いサービスを提供する基盤となるべく、着実に業務に取り組みます。

一人一人が部及び課の目的・目標をしっかりと理解し、チームワークを発揮して事業を進めます。また、職員の働きかたの見直しを進め、事業の効率化を図るとともに、仕事と生活の両立をしやすい職場を目指して、ワークライフ・バランスの推進に取り組みます。

様々な市民参加の方法を効果的に実施することで市民参加を推進し、市政への市民意見の一層の反映を図るとともに、地域力の向上を図り、市民主体のまちづくりの推進に取り組みます。

「経営改善方針」を踏まえ、事業実施主体の最適化や業務の効率化を進めます。経済性や効率性のみを追求するのではなく、市民に対し、より質の高いサービスを提供できるよう、市民目線で業務に取り組みます。

## 2 平成31年度業務の目指すべき方向性と重点事項

職員一人一人の能力が最大限に発揮され、将来を見通し、新たな課題にチャレンジし、多様化・複雑化するニーズに的確に対応できる職員・組織となるよう、適材適所の人事配置をはじめとする適正な人事管理を進めるとともに、茅ヶ崎市職員の人材育成基本方針（改訂版）に掲げる人材育成の取組を推進します。

自治基本条例及び市民参加条例に基づき市民参加をさらに進めながら、市民と行政が情報を共有し、それぞれが持つ力をまちづくりに十分に発揮できる体制を構築します。

豊かな長寿社会の実現には地域力のさらなる向上が不可欠です。地域の方々と連携し新たな地域コミュニティの取組みを推進します。また、「新しい公共」の担い手である市民活動団体の特性を生かした市民サービスの充実を図ります。

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）に伴う関連業務を適正に行いつつ、連携型窓口システムを活用した届出・証明発行業務を最適な手法で実施し、安定的な窓口運営を行います。併せて、身近な地域における出張所業務の円滑かつ効率的な執行に努め、よりよい窓口サービスを提供していきます。

（仮称）公文書管理条例の制定へ向けた取組を進め、行政文書の管理がより適正かつ効率的に運営されるようにするとともに、市政に関する情報をわかりやすく提供し、市民との情報共有を推進します。

北部の行政拠点である小出支所の所掌業務を円滑に進めるとともに、老朽化が進む茅ヶ崎市斎場の適時適切な施設改修を進め、市民の利便性の向上に努めます。